

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童くらぶ どろっぶ		
○保護者評価実施期間	R8年 2月10日		～ R8年 3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 家族 (兄弟児 5 家族)	(回答者数) 7 家族
○従業者評価実施期間	R8年 2月10日		～ R8年 3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 名	(回答者数) 5 名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	普段経験できないことの実施	庭で季節に応じた野菜作りや、竹などの廃材で遊具を作成したりなど、既存の物ではなく自分たちで作った物で食育や遊びを力を養える。	自分たちで作る事で物の大切さを知り、また育てた食材を食する事で、食べ物を作る大切さを感じて貰えるよう今後も継続して行っていく。
2	居場所作り	安心できる環境と、状況に応じた活動スペースにて日々安全に安心して療育を受ける場所として提供できている。	今後も安心して預けて頂き、安全に過ごせる環境作りを行っていく。
3	他児との交流	法人内の他クラスの児童や、法人親会社の児童との交流の場や合同活動を通して、普段関わりのない児童からの刺激を受ける事が出来る。	子どもたちの成長を促す為にも、今後も積極的に交流を行っていく。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流	合同行事等では地域の方と一緒に活動等を行ってはいるが、事業所単独では周辺の方々との交流等を行えていない。	周囲が高齢な方々が多くなかなか実施は困難であるが、事業所で作った野菜等の配布等何らかの形で交流が図れないか考えていきたい。
2	保護者同士の交流や意見交換の場	行事の参加を促して実施はしているが、法人全体行事の為人も多くなかなか話す時間等を設ける事が出来ていない。	季節ごとに保護者の集まる場を計画し、様々な悩みの共有や子育てについて意見交換できる場を提供できる様にしたい。
3	事業所の取り組みの周知	安全計画等の周知を行っているが、十分な理解に繋がってなくわからない等の回答が多かった。	もっと分かり易く説明し、またホームページ等の周知を行う事でもっと理解していただける様に取組んでいく。